



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.01.20

No.00686

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎 幹 事：横澤啓二 連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【クラブフォーラム】01.20
 「特別月間」
 R 情報委員会

次のプログラム

【クラブ協議会】01.27
 「事業中間報告」
 クラブ役員

1月の主な行事：ロータリー理解推進月間

第 685 回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長

ロータリーソング：なし

ゲ ス ト：なし

ビ ジ タ ー：なし

会長報告：城出鴻二郎



■新年会ですから、野暮な報告は省略いたします。

皆様、新年明けましておめでとうございます。穏やかな年初めで、今年こそは良い年になるのかと祈念しています。

■昨年末 28 日の社会福祉協議会ふれ愛餅つきには、横山さん、米島さん、椎塚さん、ご苦労様でした。

■新年まことに残念なことでしたが、片岡 PG のお父様が逝去されました。年末の例会で、ロータリーの友に掲載されました親子 3 代ロータリアンの紹介をいたしました。まことに無念なことでした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■また、新年早々でしたが、ひたちなか市で井上 PG のご本職の陶芸作家としての個展が「サザコーヒー」で開かれ、偶然でしたが、多くのロータリアン諸兄とお会いする機会にもなりました。井上先生の澄み切った上品な作風は新春にマッチして、ひとしおの感がありました。まさしく芸術家そのもので、目の保養になりました。

■年末にはお騒がせいたしました、地区ガバナーからのアンケートか何か不明な要請が、年初めに到着したとの連絡が来ました。今後の動向にはまだ注意が必要かと思えます。

■理事会は来週の例会終了後にいたしますので、よろしく願いいたします。

幹事報告：横澤啓二



■あけましておめでとうございます。特別な連絡事項はありません。定例理事会も本日は新年会でございますので慌しく落ち着きませんので来週に致しました。

宜しく願い致します。

エネルギーをクラブに注ぐ

President Kalyan Banerjee



■ワシントン D.C.の郊外にあるアーリントン国立墓地に、公式にはアメリカ海軍建設工兵隊として知られている Seabees (海の働き蜂) の記念碑が立っています。碑文には「前向きな精神と優れた技能で、困難なことも直ちに実行し、不可能なことは少し時間がかかるだけ」と

記されています。

共に活動する時、不可能は可能になる

ロータリーにおいて、私たちは既に私たち自身の標語をもっています。しかし、もしなかったとしたら、私は次の言葉を推薦したでしょう。「結束した努力の力は、ポール・ハリスがかつて書いたように、限界を知らない。私たちが共に活動する時、不可能は可能となる」

このことは数か月前、世界で最も権威のある医学雑誌の一つであり、アメリカで出版されている『New England Journal of Medicine』に掲載されていた「The Polio Endgame (ポリオの最終段階)」と題する記事を読んだ時に考えたことです。その記事は撲滅後の

危機管理を含むポリオ後の時代の戦略の概説でした。30年前なら、このような記事が掲載されることはまずなかったでしょう。今日、このことは献身、粘り強さ、ならびに努力の結集の力を証明しています。不可能が本当に可能になったのです。かつては夢物語だったポリオのない世界がもうすぐやってくるのです。

ロータリーのことを地域社会に示す時

組織全体としてみると、毎年、各地で、十分な数の人々がロータリーに入会しているにもかかわらず、非常に多くの人々がロータリーを去っていることは、さまざまな数字が物語っています。何に失望して彼らは去っていくのでしょうか？ 私たちは、どのような期待に応えられないのでしょうか？ 私たちは何かをもっとすることができるのでしょうか？

今こそ、私たちのエネルギーをそれぞれのクラブと、そして人々が私たちのクラブのことを知る方法に集中するときです。今日のロータリーは、人々が思っているものとは異なるロータリーであることを、地域社会に示すときなのです。ロータリーは繋がり合い、より多くのことを成し、より大きくなる方法、つまり、私たちの理想やビジョンを取り上げ、実現する道なのです。

本日のプログラム

新年会（於：わらく）18:30～

■皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は3月の大震災にあって、ロータリーも予定通り進むことが出来ず、何かと考えさせられた年になりました。せめて今年とはりあえず穏やかな1年になることを念願したいと思います。

困難な現象も少し整理され、整理されると同時により深刻な現実にどのように向き合うのか、日本のシステム自体がいたるところで機能低下に見舞われています。

ロータリーにおいても同様で、この10年漂流し始めていましたが、冰山と同じ運命にあるような気がいたします。真剣に色々考える時期が来たように思います。新しい年と共に、新しい考え方を取り入れつつ、主体的な方向は維持したいと願っています。今年も、よろしく願いいたします。（城出）



■「心の中をみつめよう 博愛を上げるために」云わずとも知っている今年度のRIテーマである。当クラブも早15周年を迎えようとしている。しかし、

なかなか進まない「博愛のこころ」。何をもって博愛というのだろうか。ここに自分の心の中をみつめることが肝要であると思われる。どうしても我々は自分以外のものに目を向けてしまいがちだ。相手に対する意見や非難をする前に、今一度自分に対してはどうなのか心の中をみつめてみよう。

当クラブにとって今年は本当の意味で正念場と考える。会員増強は急務だが、そう容易いことではない。みんな覚悟して乗り切ろう。（横山）

本日出席状況

会 員	20名	出席率		55.00%
出 席 者	8名			
出席免除者	2名	亀尾会員	吉澤会員	
(定款第9条3節a)	1名	馬場会員		
Make-up	3名	荒木、小林、椎塚会員		

ニコニコボックス（目標額 600,000 円）

本日 7 件 13,000 円（本年度累計 287,000 円）

海老原会員：新年を祝して！
川上会員：新年も宜しくお願い致します。
城出会員：新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
長友会員：お目出とうございます。
横澤会員：迎春。明日、明後日はセンター試験です。酒なんか飲んでる場合ではない。
米島会員：謹賀新年！
横山会員：今年辰年。そして龍ヶ崎。おめでとうございます。

ロータリー豆知識

《5年間の愚行》

（亀尾会員）

ローリーの創始者ポール・ハリスは、1891年大学を卒業するとその後5年間は人生経験を積むために様々な職業に就いた。

新聞記者、実業高校の教師、果樹園や乾葡萄製造工場の労働者、証券会社では取引所の立会人、牧場でカウボーイ、オレンジ摘み、大理石や花崗岩会社の販売員、家畜運搬船の水夫など17種の職業経験が彼の見聞を広めた。これが後のロータリーの発展に貢献した。

私達が写真で見ている弁護士ポール・ハリスは温厚な風貌だが、カウボーイとして牧草を走駆していたのを想像すると、意外な一面が見えてくるようです。そして、改めて「無用の用」の大切さが分かった。

例会の欠席は、**水曜日 AM:10:00 までに川上副 SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。**